

2015/2/20

内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付  
イノベーション戦略推進担当

## 重要課題専門調査会 ワークショップの企画について（案）

## ■開催日時

2015年3月10日（火）10:00～12:00

## ■基本方針

現在、各戦略協議会やワーキンググループにて構成員の専門的知見や関係府省の協力を得て「平成28年度に取り組むべき課題・領域」について議論を進めている。また、特に今年度はシステム化の議論が必要であることが第4回専門調査会でも指摘されたところであり、各戦略協議会・ワーキンググループではこの観点で重点的な調査・検討が進められているところ。

これらの進化点・改善点を反映した着実な課題達成を図るため、新たな視点で現在の総合戦略2章相当の箇所に書き込むべき内容の見直しを行い、総合戦略に反映させる。

## ■議論の流れ

## ①議論のテーマ

まず、基本計画に書き込むことを想定する経済・社会的課題を掲げ、これらを解決するため、基本計画専門調査会で検討中の未来の産業創造・社会変革に向けた取組の構成要素となるIoT、ビッグデータ解析、AI、ロボット技術等を活用した「スマート社会（仮）」を全体テーマに掲げ（別紙1）、ここで取り組むべきシステムについて議論を行う。

## ②各戦協・WGからの提案内容

各戦略協議会・WGで検討を行っている「平成28年度で取り組むべき課題」の検討内容を踏まえ、スマート社会を構成するシステム化の提案を行う。その際、どのような仕掛けを盛り込んだシステムによってスマート社会を実現するのか提示する。併せて、オリパラプロジェクトによるスマート社会実現への寄与についても触れる。

## ③議論内容

各戦協・WGより提案のあったシステムについて意見交換する。

→総合戦略へ反映すべき内容について方向性を議論。

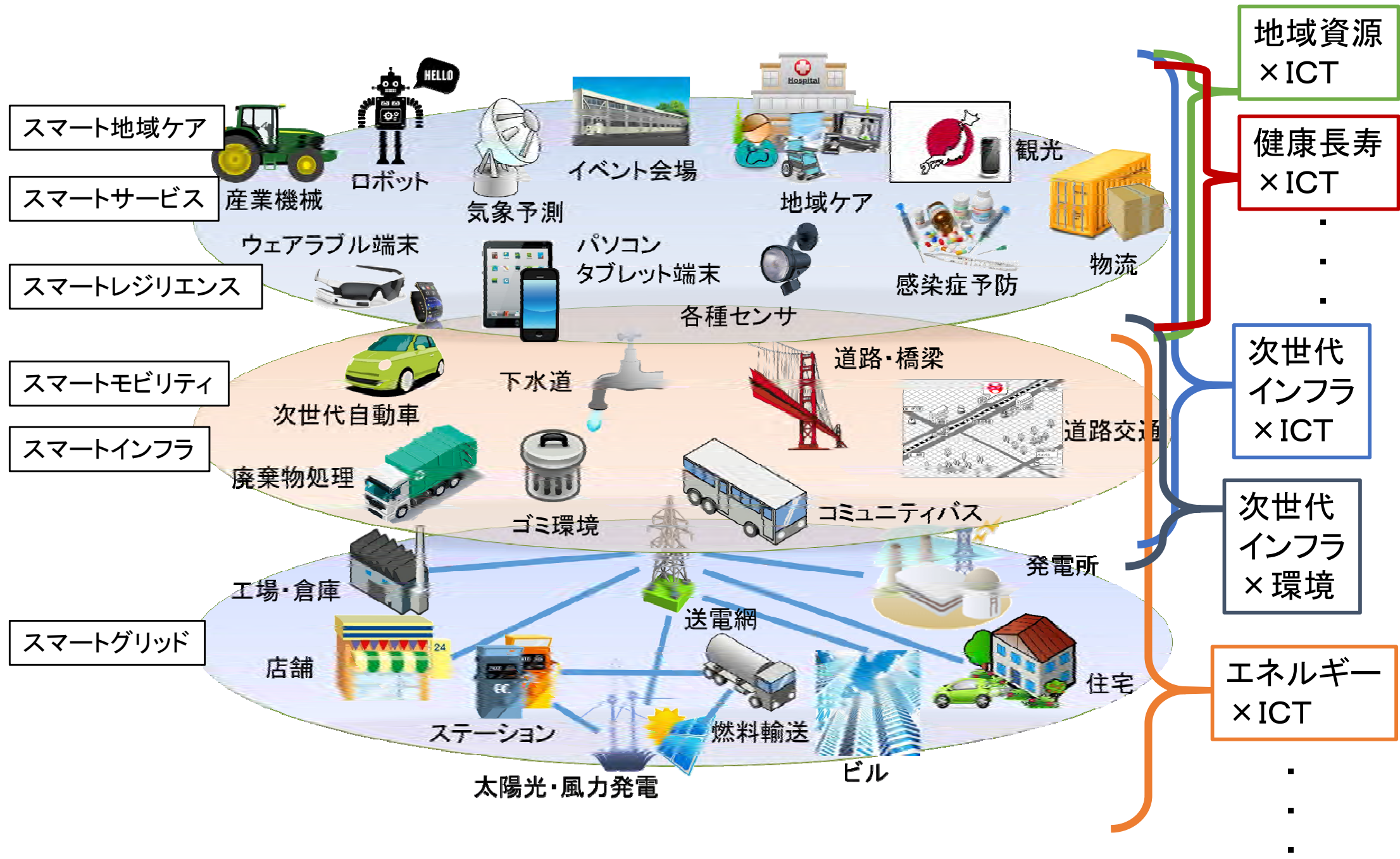
## ④結論

経済・社会的課題と政策課題（重点化事項）、「スマート社会」を実現するためのシステムについて別紙2のように整理するとともに、次年度総合戦略に盛り込む内容の方向性について共有を図り、また各戦協・WGの最終とりまとめに反映させる。

以上

# スマート社会(仮)の実現に向けて

別紙1



# 経済・社会的課題からみる政策課題解決に向けたシステムイメージ

